

平成29年度

(第53期)

事業計画書

収支予算書

自 平成29年 1月 1日

至 平成29年12月31日

目 次

1.平成29年度事業計画 . . . P.3 - 9

2.平成29年度収支予算等 . . . P.10 - 15

はじめに

50年の歴史を誇りに更なる前進を！

国立京都国際会館は、日本で最初の国立の国際会議場として、昭和41年5月に、ここ洛北宝ヶ池の地に産声をあげてから、お蔭様で半世紀が経ちました。これまでに開催された会議は、国際会議が約2,000件、国内会議は約15,000件、合計17,000件を超え、また、約1,150万人もの会議参加者の方々がここに集われました。オープン以来50年、今日まで、国際機関、国、自治体、主催者やステークホルダーの皆様方のご指導を頂きながら財団運営を進めてきましたが、その間、日本の国際社会でのプレゼンスの向上、経済の成長や技術革新などと共に、会議運営を取り巻く環境も大きく様変わりをしました。会議の多様性や大型化、テーマの追求、テクノロジーの進化、環境保全問題、そして日本のみならず世界規模での会議施設の増加、取り分けアジア太平洋地域における国を挙げての大型会議の誘致には著しい競争激化が生じています。このような環境の変遷を経て、私たちの携わる仕事もようやく「MICEビジネス」と言われるまでに産業として成長してきました。

平成28年11月、いよいよ当館においても、永年待ち望んでいたニューホールの建設工事が、平成30年の完成を目指して開始されました。2,000㎡の多目的ホールとして、会議はもちろん、展示やパーティー等様々なイベントにも対応でき、今までよりも大型の催事を開催頂ける環境が整いつつあります。これを機に、自治体や関係機関等との連携を更に深め、オール京都として一層の誘致強化に取り組んで参ります。折しも、文化庁の京都への移転が決まり、京都の魅力をも日本のみならず、世界に発信していける好機と捉え、期待を膨らませています。

平成29年は創立51年目の年となり、当館にとっては更なる飛躍の年でもあります。この地に、日本で最初かつ唯一の国際会議場を設立するためにご尽力頂きました当時の関係者の皆様の熱い思いを今一度胸に刻み付け、これからも国際相互理解の促進と、学術、科学技術等への振興に寄与し、伝統と文化の溢れる京の都が日本のMICEを牽引していけますよう、当館がその中心的役割を担うべく進化し続けて参ります。

“Beyond 50th Anniversary ～50年の歴史を誇りに～”

平成29年、国立京都国際会館は、新たな歴史へと踏み出します。

平成 29 年度事業計画

1. 平成 29 年度事業計画

(1) 平成 29 年度業務運営について

①開催予定会議の状況について

現時点での平成 29 年度会議開催件数は、国際会議 40 件、国内会議 160 件、合計 200 件を見込んでいます。「第 32 回国際アルツハイマー病協会国際会議 (ADI2017)」や「第 23 回世界神経学会議 (WCN2017)」などの大型国際学会を始め、「比叡山宗教サミット」や「第 47 回 MDRT 日本会大会」(MDRT:生保金融専門家の国際組織)などの会議、また、1 万人規模の「京都新酒まつり」などが開催されます。

➤平成 29 年度に開催される主な催事について

・第 32 回国際アルツハイマー病協会国際会議 (ADI 2017)

主催：国際アルツハイマー病協会

参加人数：3,000 名 (海外 70 カ国より 800 名、国内 2,200 名)

会期：2017 年 4 月 26 日～29 日

備考：科学者・医師等による単なる研究発表ではなく、患者を取り巻く支援者と研究者が一体的に議論を深めることによって、認知症についての認識を世界的規模で高めることを目的とされています。

・第 23 回世界神経学会議 (WCN 2017)

主催：世界神経学連盟

参加人数：5,000 名 (海外 90 カ国より 3,000 名、国内 2,000 名)

会期：2017 年 9 月 16 日～21 日

備考：神経学 (Neurology ニューロロジー) と人工知能によるロボティックス の分野を近づけ、人と機械の共生を目指す、「ニューロロボティックス」の新たな領域を切り拓くことなども目指されています。

➤主な国際会議

催 事 名	期 間	参加人数
公益社団法人日本青年会議所 2017 年度 京都会議	2017/01/19～01/22	14,000
第 47 回 MDRT 日本会大会	2017/04/20～04/21	2,000
第 32 回 国際アルツハイマー病協会国際会議	2017/04/26～04/29	3,000
第 26 回日本心血管 インターベンション治療学会	2017/07/06～07/08	4,800
比叡山宗教サミット	2017/08/03～08/04	1,300
第 23 回世界神経学会議	2017/09/16～09/21	5,000
第 15 回国際 TDM 会議 ・第 34 回日本 TDM 学会学術大会	2017/09/23～09/27	2,500
科学技術と人類の未来に関する 国際フォーラム第 14 回年次会合	2017/10/01～10/03	900
第 62 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会	2017/10/20～10/22	3,500
第 10 回世界毛髪研究会議 (CHR2017)	2017/10/31～11/03	500
第 33 回京都賞授賞式 ・記念講演会・記念ワークショップ	2017/11/10～11/12	3,000
第 29 回世界病理臨床検査医学連合会議 ・第 64 回日本臨床検査医学会学術集会	2017/11/15～11/19	3,000
日本歯周病学会 60 周年記念大会	2017/12/16～12/17	3,000

➤主な国内会議

催 事 名	期 間	参加人数
第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会	2017/01/13～01/15	5,000
第 51 回糖尿病学の進歩	2017/02/17～02/18	3,000
ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区 第 63 回年次大会	2017/04/15～04/15	1,800
京都新酒まつり	2017/04/15～04/16	10,000
国際ロータリー第 2650 地区 地区研修・協議会	2017/04/30～04/30	1,300
第 55 回 IBM ユーザー・シンポジウム	2017/05/18～05/19	1,000
第 60 回全国私立保育園研究大会	2017/06/07～06/09	2,500
第 5 回日本糖尿病療養指導学術集会	2017/07/29～07/30	1,000
日本小児看護学会 第 27 回学術集会	2017/08/19～08/20	1,300
第 13 回 子育て支援講座	2017/08/27～08/27	1,300
日本認知症グループホーム協会 全国大会	2017/09/09～09/10	1,500
第 68 回日本皮膚科学会中部支部学術大会	2017/10/07～10/08	1,000
第 57 回日臨技近畿支部医学検査学会	2017/10/28～10/29	1,800
第 51 回日本てんかん学会学術集会	2017/11/03～11/05	2,000
第 30 回日本内視鏡外科学会総会	2017/11/03～11/05	6,000

注) 平成 28 年 12 月 12 日現在 公開可の催事のみを表示

②平成 29 年度開催催事の誘致強化について

➤インセンティブ誘致の取り組み

京都全体でも優先的な誘致ターゲットと位置付けているインセンティブについては、製薬・金融など活発な需要が見込まれる分野を主なターゲットとし、その拡大に努めます。

➤トラベルエージェント等関係機関との更なる連携

企画商品化した飲食プランを、トラベルエージェントの販売ルートに流通させるなど、企業会議・研修会等の中規模催事の新たな販路を切り拓いていきます。

➤学術会議主催者への再アプローチ

数年先の大型学会のみならず、研究会やシンポジウム、また関連分野の試験などの中小規模催事も丁寧に情報収集し、開催件数増加につなげるとともに、既存顧客の深耕拡大を目指します。

③ニューホールの開業を見据えた誘致展開について

- ・ニューホールの積極的なプロモーション活動の開始
- ・ニューホールの利用を想定した具体的な案件の誘致活動の強化

➤誘致中の主要な国際会議

- ・国連犯罪防止・刑事司法会議

主催：UNODC United Nations Office on Drugs and Crime (国連薬物・犯罪事務所)

参加人数：4,000名

会期：2020年5月



➤誘致中の主要な大型学会

- ・STROKE 2022（脳卒中関連3学会の合同開催）

主 催：日本脳卒中学会
日本脳卒中の外科学会
スパズム・シンポジウム

参加人数：7,000人

会期：2022年3月

- ・第58回日本リハビリテーション医学会学術集会

主 催：日本リハビリテーション医学会

参加人数：8,000人

会期：2021年6月10日～13日

④顧客満足度の向上について

➤ケータリング・サービスの向上

魅力的なメニューづくりの継続とケータリング・サービスの品質向上を核にした新たな誘致活動に取り組みます。

- ・パーティーメニューを始めとする飲食メニューのリニューアル
- ・京都らしい飲食オプションプランの拡充
- ・会議と庭園パーティーのパッケージ化
- ・大手エージェントの情報流通網の活用



➤Web アンケートの顧客意向の積極的活用について

調査方法をハガキから Web に切り替え、開催都市・開催会場選定の意向調査等を項目に含め、実施を開始しました。より戦略的な誘致、魅力的なサービス提供を行うために、主催者・PCO（会議運業者）などからの声を集積するとともに、各項目で検証を行い、飲食関係や案内誘導、会議運営などサービス体系の見直しに着手します。

➤Website のリニューアルについて

Website の全面リニューアルについては、平成 29 年度春の完成を目指しており、これによりデザインを刷新し、顧客目線の画面構成につくり変え、より会館の魅力・サービスを伝えられるよう表現方法も改善します。また、営業（誘致）ツールとしての機能を強化します。

⑤人材育成制度の充実と労働環境の健全性確保の徹底について

本年より新たに導入した人事評価制度をより充実させるために、管理職前の職員にも、職責に応じた段階的なマネジメント研修を実施し、リーダーシップの醸成に努めます。また、多様化するハラスメントに対応した研修を行い、職員としての教養・知識を向上させます。加えて、職員が心身共に健康で能力を十分発揮できる健全な労働環境を整えるために、産業医の導入と、ストレスチェックの実施によるメンタルヘルスの向上を目指します。

⑥より安全な会議場運営のための危機管理体制の強化について

自然災害やソフトターゲットへのテロ行為、凶悪犯罪などが発生している昨今、日頃からの危機意識の向上とその体制の強化が不可欠です。定期的に有事を想定したより実践的な訓練の実施によるスキルのレベルアップや、催事状況に応じた警備体制の柔軟な運用とその強化を図り、より安全な会議場運営を目指します。

⑦地域交流について

毎年恒例の「宝松庵茶会（春・秋）」や「桜・さくらスペシャルデイズ」、「乾杯の夕べ」などは平成29年度も継続して開催し、地域への貢献と交流を促進します。また、国立京都国際会館の開館50周年を記念して、当館の今後の方向性を論議するため、「国際会議場が地域・都市に果たす役割」（仮）と題してシンポジウムを開催します。

(2) 役員（理事）の改選について

平成29年3月開催の評議員会をもって7名の理事が任期満了となります。今後のスケジュールとしましては、3月開催の定例評議員会での選任に向け、2月上旬に役員等候補選出委員会を開催し、次期候補者を選出する予定です。

平成 29 年度収支予算書

1. 平成 29 年度収支予算等

(1) 平成 29 年度収支予算等について

収入は、使用料収入 13 億円に、その他収入 9,030 万円を加え、合計 13 億 9,030 万円の見込み（対前年度で 3 億 6,500 万円の減収）です。一方、支出は、14 億 2,188 万円を見込んでいます（対前年度で 2 億 7,122 万円の圧縮）。この結果、平成 29 年度予算案における収支は、3,158 万円の損失を見込んでいます。これに対しては、インセンティブの増加やトラベルエージェントなどを活用した効率的な誘致を行い、会場使用料収入の増加を図る一方、徹底した経費削減を行い、収支の改善に努めます。

(2) 資産取得事業と修繕計画について

(ア) 資産取得事業

(単位：千円)

	項目	金額
1	ニューホールにおける京都らしい設え工事着手金	80,000
2	ニューホールにおける京都らしい設え意図伝達・工事監理費	10,000
3	職員用 PC の更新	14,000
4	ネットワーク機器の更新	12,000
5	グリルカーペットの更新	6,000
6	本館トイレのウォシュレット化	2,300
	その他 3 件	4,700
	合 計	129,000

(イ) 改修計画

(単位：千円)

	項目	金額
1	通常修繕保守	30,000
2	井水送水管改修工事	10,000
3	屋外浄化槽動力幹線絶縁改修工事	4,500
	その他 2 件	8,100
	合 計	52,600

1. 平成29年度 予定貸借対照表

(単位：千円)

科 目	29年度予算
I. 資産の部	
1. 流 動 資 産	
現金	6,000
預金	698,500
未収金	129,000
販売物品	100
仮払消費税	0
流動資産合計	833,600
2. 固 定 資 産	
基本財産	
指定正味財産	375,950
一般正味財産	224,050
計	600,000
有形固定資産（通常運用）	
建物附属設備	305,045
車両運搬具	4,822
工具器具備品	426,558
立木	1,000
茶室建物	74,243
茶室備品	3,018
建設仮勘定	101,873
(計)	916,559
減価償却累計額	△605,753
計	310,806
有形固定資産（第一次運用）	
工具器具備品	55,725
減価償却累計額	△ 49,700
計	6,025
有形固定資産（第二次運用）	
工具器具備品	19,785
減価償却累計額	△ 19,784
計	1
有形固定資産（第三次運用）	
工具器具備品	53,031
減価償却累計額	△ 53,030
計	1
有形固定資産（第四次運用）	
工具器具備品	88,949
減価償却累計額	△ 88,831
計	118
有形固定資産（随時運用）	
工具器具備品	482,364
減価償却累計額	△476,735
計	5,629
無形固定資産	
会議ソフトウェア	24,473
通信加入権	725
(計)	25,198
減価償却累計額	△0
計	25,198
基本財産計	947,778
特定資産	
退職給付資金	187,100
特別修繕資金	25,000
資産取得資金	150,000
計	362,100
特定資産計	362,100
固定資産合計	1,309,878
資産合計	2,143,478

		(単位：千円)
科 目	29年度予算	
II. 負債の部		
1. 流 動 負 債		
未払費用		80,000
前受金		37,000
一時預り金		3,000
職員預り金		7,000
仮受消費税		3,000
未払法人税等		0
流動負債合計		130,000
2. 固 定 負 債		
保証預り金		60,600
退職給付引当金		187,100
特別修繕引当金		25,000
固定負債合計		272,700
負債合計		402,700
III. 正味財産の部		
1. 指 定 正 味 財 産		
基本財産		375,950
指定正味財産合計		375,950
2. 一 般 正 味 財 産		
基本財産		224,050
事業運営財産		347,778
資産取得準備金		150,000
繰越金		643,000
一般正味財産合計		1,364,828
正味財産合計		1,740,778
負債及び正味財産合計		2,143,478

平成29年12月31日

2. 平成29年度 予定正味財産増減計算書内訳表

平成29年1月1日から平成29年12月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益事業				収益事業					法人会計	内部取引 消去	合 計
	公益1	公益2	共通	小計	収益1	収益2	収益3	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
① 使用料	1,105,000	0	0	1,105,000	195,000	46,000	5,000	0	246,000	0	0	1,351,000
会場使用料	1,105,000			1,105,000	195,000				195,000			1,300,000
飲食施設使用料				0		43,000			43,000			43,000
駐車場使用料				0			5,000		5,000			5,000
売店使用料				0		3,000			3,000			3,000
② 地下鉄連絡通路料				0			10,000		10,000			10,000
③ 自主企画事業料		19,000		19,000					0			19,000
④ 基本財産等運用益	7,300			7,300					0			7,300
⑤ その他収入				0		3,000			3,000			3,000
経常収益計	1,112,300	19,000	0	1,131,300	195,000	49,000	15,000	0	259,000	0	0	1,390,300
(2) 経常費用												
① 事業費	1,141,801	31,628	0	1,173,429	201,494	7,811	25,620	0	234,925	0	0	1,408,354
人件費	336,845	4,128		340,973	59,443	4,128	4,128		67,699			408,672
委託費	178,857	2,160		181,017	31,563	630	12,430		44,623			225,640
運営費	495,301	1,546		496,847	87,406	1,459	546		89,411			586,258
維持管理費	130,798	1,594		132,392	23,082	1,594	1,016		25,692			158,084
地下鉄連絡通路維持費				0			7,500		7,500			7,500
自主企画事業費		22,200		22,200					0			22,200
② 管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,526	0	13,526
人件費				0					0	4,128		4,128
法人運営費				0					0	8,082		8,082
維持管理費				0					0	1,316		1,316
経常費用計	1,141,801	31,628	0	1,173,429	201,494	7,811	25,620	0	234,925	13,526	0	1,421,880
当期経常増減額	△ 29,501	△ 12,628	0	△ 42,129	△ 6,494	41,189	△ 10,620	0	24,075	△ 13,526	0	△ 31,580
2. 経常外収益												
(1) 経常外収益												
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用												
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	10,549	10,549	0	0	0	△ 24,075	△ 24,075	13,526	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 29,501	△ 12,628	10,549	△ 31,580	△ 6,494	41,189	△ 10,620	△ 24,075	0	0	0	△ 31,580
法人税等								0	0			
当期一般正味財産増減額	△ 29,501	△ 12,628	10,549	△ 31,580	△ 6,494	41,189	△ 10,620	△ 24,075	0	0	0	△ 31,580
一般正味財産期首残高			0	1,396,408						0		1,396,408
一般正味財産期末残高	△ 29,501	△ 12,628	10,549	1,364,828	△ 6,494	41,189	△ 10,620	△ 24,075	0	0	0	1,364,828
II 指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			375,950	375,950								375,950
指定正味財産期末残高			375,950	375,950								375,950
III 正味財産期末残高	△ 29,501	△ 12,628	386,499	1,740,778	△ 6,494	41,189	△ 10,620	△ 24,075	0	0	0	1,740,778
	政府等による国際 会議、学術会議等 に関する事業	国際交流等に関 する事業			公益目的事業に該 当しない催事に関 する事業	飲食・宿泊・売 店等に関する事 業	有料駐車場等 に関する事業					

平成29年度収支予算

平成29年1月1日から平成29年12月31日まで

(単位：千円)

収 入 の 部			
科 目	当年度(H29)	前年度(H28)	増減
使用料	(1,351,000)	(1,716,000)	▲ 365,000
使用料収入	1,300,000	1,650,000	▲ 350,000
飲食宿泊施設使用料収入	43,000	43,000	0
駐車場収入	5,000	20,000	▲ 15,000
その他収入	3,000	3,000	0
利息収入	(7,300)	(9,300)	▲ 2,000
基本財産利子	7,200	9,200	▲ 2,000
受取利息	100	100	0
その他収入	(3,000)	(3,000)	0
地下鉄連絡通路収入	(10,000)	(8,000)	2,000
自主企画事業収入	(19,000)	(19,000)	0
合 計	1, 390, 300	1, 755, 300	▲ 365,000

平成29年1月1日から平成29年12月31日まで

(単位：千円)

支 出 の 部			
科 目	当年度(H29)	前年度(H28)	増減
人件費	(412,800)	(424,600)	▲ 11,800
職員給料	245,000	248,600	▲ 3,600
期末手当	78,600	84,100	▲ 5,500
退職金	24,300	25,800	▲ 1,500
通勤手当	8,700	8,600	100
法定福利費	53,800	53,900	▲ 100
福利厚生費	2,400	3,600	▲ 1,200
委託費	(227,800)	(241,700)	▲ 13,900
会場設営費	38,000	38,000	0
駐車場費	11,800	14,000	▲ 2,200
館内案内費	24,000	24,000	0
警備費	33,000	33,700	▲ 700
清掃費	45,000	49,000	▲ 4,000
電気機械保守費	63,000	70,000	▲ 7,000
派遣費・報酬等	13,000	13,000	0
運営費	(592,180)	(804,200)	▲ 212,020
電力使用料	54,600	60,000	▲ 5,400
ガス使用料	70,000	80,000	▲ 10,000
水道使用料	3,900	3,900	0
広報宣伝費	8,700	5,600	3,100
通信運搬費	6,400	6,400	0
運営用消耗品費	11,000	13,000	▲ 2,000
会場運営諸費	437,580	635,300	▲ 197,720
管理費	(159,400)	(186,300)	▲ 26,900
修繕保守費	52,600	71,000	▲ 18,400
庭園保守費	27,800	27,800	0
交際接待費	1,500	2,000	▲ 500
旅費	6,000	7,000	▲ 1,000
事務印刷費	13,000	15,000	▲ 2,000
保険料	2,500	2,500	0
会議行事費	1,000	1,000	0
諸会費分担金	5,000	7,000	▲ 2,000
諸費	1,000	3,000	▲ 2,000
減価償却費	49,000	50,000	▲ 1,000
地下鉄連絡通路費	(7,500)	(7,500)	0
自主企画事業費	(22,200)	(23,800)	▲ 1,600
50周年関連事業費	(0)	5,000	▲ 5,000
当期収支差額	(▲ 31,580)	(62,200)	▲ 93,780
合 計	1,390,300	1,755,300	▲ 365,000